



日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005  
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347  
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>

市 会 議 員	佐藤重雄 ☎432-9872
石川敏宏 ☎462-4548 事務所☎467-2860	関根和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160	中沢 学 ☎493-8140
金沢和子 ☎422-5278	渡辺ゆう子 ☎462-7273



衆議院議員 齊藤和子

皆様のお力で国会へと送って頂き、新たな挑戦の年を迎えました。子どもを戦場へ送る国にはさせない、憲法改悪を許さない共同の輪を広げ9条を守りましょう。誰もが未来に希望の持てる日本へ、たたかい抜く決意です。



新年おめでとう  
 がんばります

統一地方選挙の結果が

近未来の「日本の形」を決める!

昨年 of 末に行われた衆議院選挙では、日本共産党は「8議席から21議席」へと躍進させていただきました。この議席増を、安倍自・公政権の暴走を止める力に行きます。

今年4月には県議会議員と市議会議員の選挙があります。この選挙には、「地方だけにとどまらない役割」が担わされることとなります。

「アベノミクス」「特定秘密保護法」「集団的自衛権」「消費税の増税」「原子力発電所の再稼働」：このどれもが、「国民を危険にさらす」内容のものばかりではありませんか!

特に、「集団的自衛権」を運用するための「法律案」は、総選挙では「ダンマリ」を決め込み、「統一選挙の結果が出てから」国会に提出するそうです。ということは、先に出せば、「統一地方選挙に大きな影響を与えかねない」ものだという事ではありませんか!

海外での戦争に、自衛隊員を送り、戦闘をし、戦死し、兵士が足らなくなったら... どのように隊員を補充するのか? こんな深刻な問題を、選挙が終わったら明らかにする... このたくらみを明確にし、地方選挙での前進で、「法案を出せない状況」に追い込みましょう!

# 力を合わせてがんばります



**日本共産党船橋市委員会・子どもを守る対策室長 坂井 洋介**

昨年は公私共に大激動の一年でした。息子の誕生、会社員を辞めて新たな道への挑戦を決意、年末の総選挙では日本共産党の議席が倍以上の21議席へと大躍進。今年は一斉地方選挙の年です。全力で頑張ります。



**日本共産党船橋市委員会・雇用とくらし相談室長 松崎 さち**

参院選に続き、総選挙でも大躍進をさせて頂き、ありがとうございます。福祉削減、「戦争する国づくり」、原発推進など悪政をストップさせ、未来に希望が持てる社会を、皆さんと一緒につくっていききたいと思えます。



**県議会議員 丸山 慎一**

昨年の総選挙で「日本共産党」と書いていただいた方が600万人。その一つ一つに込められている思いをしっかりと受けとめ、国民が動かす新しい政治をめざして全力をつくします。



**市議会議員 岩井 友子**

私が二十歳の頃、就職といえど正社員が当たり前だった。会社に入って、仕事や人づきあいを覚え、社会人として育ってきた。結婚して、家庭を作ることが見通せた。若者に希望を取り返そう！



**市議会議員 金沢 和子**

低投票率に、不安を感じる。党への期待を感じる一方で、政治への関心あまりにも低いことは、与党を利するばかり。党への支持はもちろん、選挙に足を運んでもらえるよう、力を尽くしたい。



**市議会議員 中沢 学**

「自民圧勝」と言うが得票は有権者の1/4。小選挙区制によって得た「虚構の多数」恐るるに足らず。国民多数派と日本共産党の共同こそが政治の帰趨を決める。いよいよ「自共対決」時代の幕開けです。



**市議会議員 渡辺 ゆず子**

12月市議会で「日本軍「慰安婦」の強制連行はなかった」と偽りの「歴史」が多数で押し通されました。秘密保護法、集団的自衛権、歴史の偽造…平和を壊す勢力に打ち勝つ力を大きくしたい！



**市議会議員 石川 敏宏**

どのように政治を変えれば、国民が安心して暮らせるのか、政治の原点を踏まえての政策と活動の成果が、今回の衆議院選挙の結果だと感じた。4月の選挙でも勝利し、このながれを強めたい。



**市議会議員 佐藤 重雄**

「地域包括ケアシステム」が、「施設から追い出す」、あとはどうともなればいい、医療と介護のための支出を抑える。ということにしてはなりません。「システム」で、もっとも重要な要素は「居住」です。そこに注目を！



**市議会議員 関根 和子**

年金が減らされ生活でできない高齢者、非正規雇用の若者、消費税増税で経営難の業者、市民の中でも格差と貧困が広がっています。「誰もが安心して暮らせる街づくり」を目指し、今年も皆様と力合わせます。

